

権座・水郷を守り育てる会 権座水郷を守り育てる景観保全活動事業

近代的農業から見放された、独特の農業形態（船でしか渡れない）権座地区を舞台に、日本の原風景を見直す活動を、「水郷景観を守る運動」として取り組んでいます。



権座サポーターの集い：近江八幡の水郷風景を守るお酒として2009年3月に誕生した純米吟醸酒「権座」5周年を記念して「権座・水郷を守り育てる会」が主催してつどいを開催しました。活動報告や「権座」の醸造経過の説明、試飲と地元農産物を食材とした加工品の振舞いなども行いました。

ヨシ刈りボランティア実施：日本の原風景近江八幡の水郷を守るための活動として、ボランティアが60人参加。水郷地帯で一番重要なヨシ原が、年々ヨシ産業の衰退と合わせ放置され原野化が進み、地域の風景が大きく損なわれています。作業を通して、景観保全という意識を醸成することを目指しています。また、ヨシ刈り体験事業は景観保全の認識の高揚や宇治茶とヨシの重要な関係の知識を深めることができました。地域の風景は人々の暮らしや生業を映し出すものであり、本市の風景を守り育てる活動は一朝一夕に目的を達成できるものではありません。

われわれの会は、先人の苦勞を今生きる者たちが一歩ずつ着実に行動を起こして守っていくものであると信じて活動を展開しています。そのためにも活動の資金源に苦勞している現状から、本夏原グラント助成事業が、大きな助けとなりました。

草津でホタルを楽しむ会 湧水池を活かして、ホタルや生き物達を観察できる水辺づくり

ホタルを通して自然の素晴らしさを伝え、地域の自然や水辺に親しみを感ずる様に活動しています。

<http://hotaru932.shiga-saku.net/>



水の利用がなくなり暮らしと切り離された湧水池は、人が入れない荒れた状態になっていました。以前の様に「ホタルが飛び交う地域の大切な水辺」を目指し、地域の方々と一緒に整備活動を始め、少しずつ親しめる水辺になってきました。これからホタルや生き物を身近に観察できる水辺として、観察小屋作りや池周辺の整備、水生植物の植樹等の活動を進め、生き物と触れ合う伝統行事や観察会等を通して、地域の方々の楽しい交流の場にしていきます。

放置された水辺が、身近な自然と親しむ楽しい交流の場、生き物と触れ合う場となり、地域の自然への愛着から環境保全への意識が高まり子どもたちの「ふるさとの想い出づくり」に繋がるのではと思います。

地域の方々が無心に散歩に立ち寄り、池や植物を眺めて、私たちの取り組みに関心を示され、メールで連絡をいただける方ができました。魚釣りや水鳥の観察を楽しむ人も来ます。魚つかみ（カイドリ）には地域の子もたちやお母様方が大喜びでした。



一般社団法人 kikito びわ湖の森の間伐材買取事業

滋賀県湖東地域を中心に、びわ湖の森に携わる企業や行政などが集まって、びわ湖の森を元気にする仕組みづくりをしています。

<http://www.kikito.jp/>



次世代に継承できる森林を増やすため、森林所有者の笑顔の復活を目指して、湖東地域（日野町、東近江市、愛荘町、甲良町、多賀町、彦根市）の森林で伐採された間伐材の買い取り事業を行いました。日野町と多賀町での各2回の買取日には25の団体や個人が参加してくださり、合計144 tの間伐材が集まりました。買い取った間伐材は紙製品（コピー用紙、印刷用紙、名刺台紙等）に活用され、また街に戻ってきます。

「せっかく育てた木が役に立つなら！」と間伐材を運んできてくださる笑顔にたくさん出会えました。この笑顔が、次の世代に豊かな森林を引き継ぐ原動力になり、適正な森林管理への意欲につながります。

これまで、多賀町でのみ実施してきた買取事業が、この助成によって日野町で開催できました。多くの方に「日野であるのを待ってたんや！」というお声をいただきました。この笑顔の復活により間伐材が促進され、びわ湖の森が元気になっていきます！



NPO法人 百菜劇場

レンコン畑での農業体験による環境教育事業

持続可能な農業の普及を目指し、野菜づくり・お米づくりをしています。農業体験やワークショップをとおして、農のある暮らしを提案しています。 <http://www.100seeds.net/>



水生動物が豊かな環境の百菜劇場のレンコン畑にて、生きもの調査とレンコン掘り体験会を開催しました。生きもの調査では27種類の多様な生物が見つかり、農地は食べものを作るだけでなく、生きもの住処であるという事を理解する場となりました。また、レンコンは食卓によく上る食材ですが、どのように育っているのかを知る人は少なく、重労働である収穫体験を通して、食べもののおりがたみを体感する機会となりました。

生きもの調査では、地元集落の親子とのコミュニケーションを図ることができました。レンコン掘り体験会には、県内をはじめ、京阪神や三重、新潟など遠方からの参加もあり、農業体験をとおしたグリーンツーリズムの可能性を探ることができました。

助成を活用して、収穫に苦勞をしていたレンコン畑を農業体験のフィールドにしたことで、継続的耕作の可能性を生み出すことができました。また、ホームページリニューアルやラジオ出演の機会をいただき百菜劇場の活動を広く周知させることができました。



環境レイカーズ

子どもたちによる五十年森再生事業

環境レイカーズは、五感を使い自然と関わるのが大切と考え、体験型学習法をベースにして幼児から大人までの環境学習を進めています。 <http://www.kankyolakers.org/>



東近江市八日市にある通称五十年森は、地域の人々にとっては里山林として、子どもたちにとっては自然あふれる大切な森です。しかし、近年ゴミの投棄やコナラ類のナラ枯れ、竹林の荒れ、笹藪の増加などで危険、怖い汚いというイメージを持つようになってきました。そこで、子どもたちにとって大切な森を子どもたちの手で再生していこうと、子どもたちが森の現状を知ることから始め、ゴミの撤去や間伐などを行いました。

夏場はスズメバチによる危険などもあり、思うように進みませんでしたが地域のまちづくり協議会による大掛かりな保全活動もあり、美しい森へドンドン変わっていきました。荒れた竹林や笹藪もなくなり、人が近づきやすい森へ変わっていきました。

助成によって、子どもたちが森の変化に気づき、より良い環境へ変えていけることを知りました。今後は、保全活動を行っていただけるまちづくり協議会や、子どもの遊び場としての冒険あそび場とのつながりをつくり、皆で保全していく機運を高めていきたいです。



事務局 インターネット、FMラジオによる情報発信も!

<http://www.natsuhara-g.com>



夏原グラントの初年度は6月30日贈呈式に始まり、7月1日から翌年3月30日までが助成対象期間でした。その間に事務局スタッフが現地訪問を行い、採択団体の活動のようすをインターネット上に公開しました（写真左・子育て研究会訪問の記事）。採択された21団体のうち現地訪問ができたのは14団体でした。現場に伺って初めてわかることも多く、団体の皆さんが汗を流しながら楽しく活動される姿を拝見し、応援する気持ちがより強くなって帰ってきました。

また地元FMラジオ局、エフエム滋賀の番組「平和堂マイデイリーライフ」に出演し、活動の情報発信をされた団体も多数あり、活動や団体をアピールするチャンスとして皆さん前向きに取り組んでおられました。（写真右・愛のまちエコ倶楽部ご出演時）

